歩んできたのは50年
目指す先は無限大

MEC

証券コード：4971

MEXTAGE

第50期　株主通信

2018年1月1日から12月31日まで

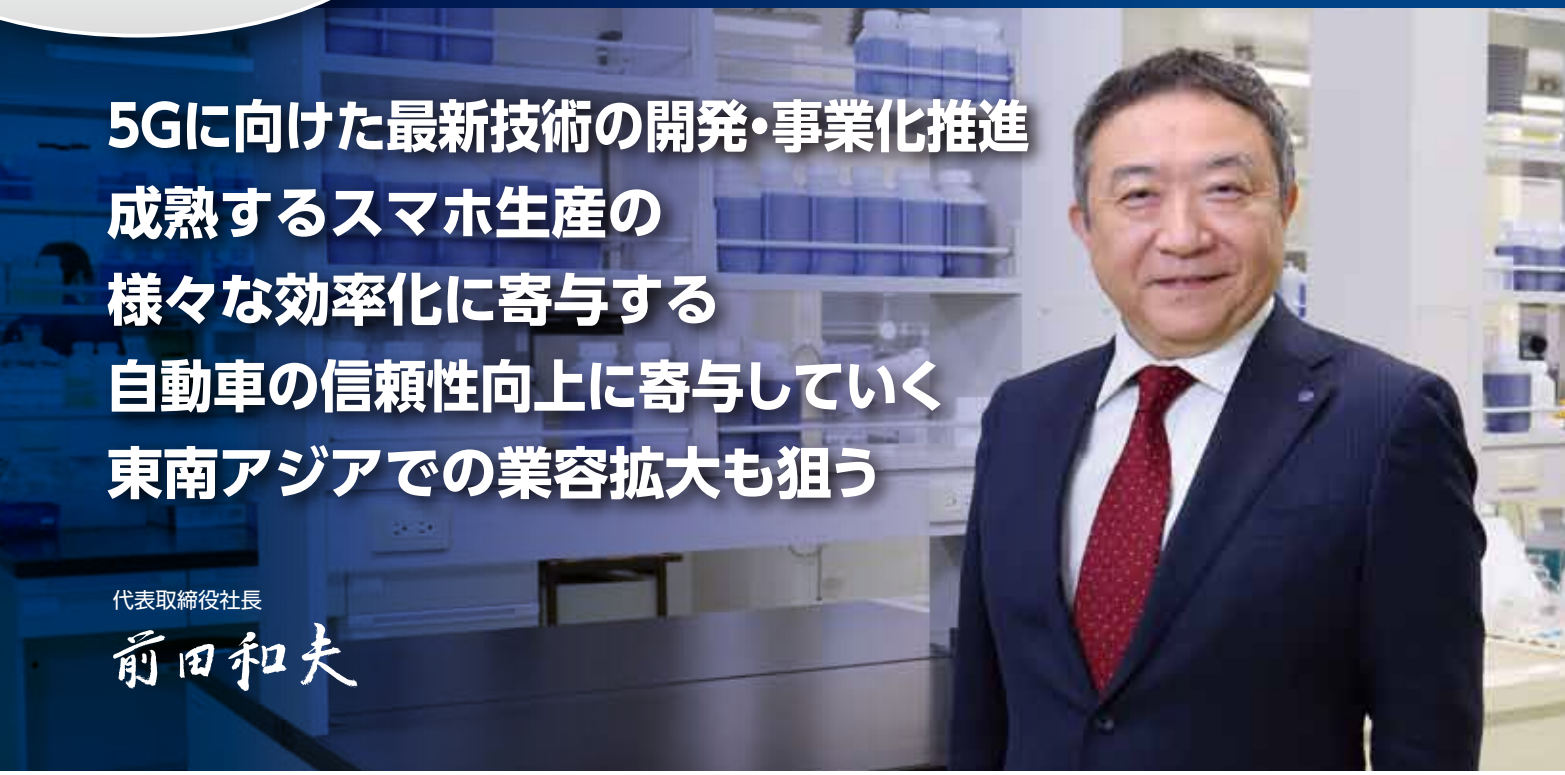
Creating Surface Possibilities　界面創造

2018年度の業績振り返りと今後の事業戦略 P.1
2018年度の業績を教えてください P.3
電子基板・部品の製造に使用されるメックの技術をご紹介 P.4
財務指標 P.5
会社概要、株式の状況 P.6

メック株式会社

社長に聞く!

2018年度の業績振り返りと今後の事業戦略



5Gに向けた最新技術の開発・事業化推進
成熟するスマホ生産の
様々な効率化に寄与する
自動車の信頼性向上に寄与していく
東南アジアでの業容拡大も狙う

代表取締役社長
前田和夫

5G時代が間近に迫る中、各種半導体需要は底堅く推移、メモリーは第4四半期から調整局面に

2018年度は、仮想通貨向け半導体需要の減速、高機能スマートフォンの生産台数低迷等の一方まもなく立ち上がる5G関連の準備が業界各方面にわたり進められ、当社においてはスマートフォンに内蔵される通信部品関連等の需要が堅調に推移しました。2019年末頃までには5Gのネットワークが一部立ち上がる見通しですが、ここでは膨大な量のデータをより高速で遅延なく処理する必要が生じるため、そのための最新技術の導入の動きは当社にとっても大きな成長機会になりうると考え、開発・事業化に注力いたしました。そうしたことから、先行投資による人件費や各種装備への費用が増加し、発送運賃等も増加したことにより、利益は減少となりました。

密着向上剤をさらに強化「新製品を市場に投入」

密着向上剤の成長戦略として当社が重視するのは、いうまでもなく5Gへの対応です。2020年からの本格的なサービス実用化に向け、5Gへの業界各方面での設備投資は、まさに待ったなしの状況です。“超高速”通信網である5Gに対応するためには、使用される半導体が高性能であることはもちろん、これらの性能を最大限に引き出すための高性能な電子基板であるパッケージ基板が必要になります。パッケージ基板の製造工程には当社の密着向上剤が使われるわけですが、さらに進化した新しい薬品プロセスを投入することによりお客様のご要望にお応えできるよう、開発・事業化を鋭意推進中です。

エッチング剤は「高密度基板生産の効率化」に寄与

今後、スマートフォンやウェアラブル端末の高密度電子基板においては、さらに高い性能を発揮しながらも、より一層生産の効率化を求められることになります。
当社のエッチング剤「EXEシリーズ」は、従来のサブトラクティブ工法の設備を用いながらでも細線化による高密度化を実現でき、お客様の生産効率の向上に大きく寄与できると考えています。

AIを支え、AIを利用する

当社は今後高性能電子基板を通じ、AIを搭載する機器・ハードウェアの発達に寄与し続けていきますが、一方でAIを使う立場

2018年度のポイント

押さえておきたい2018年度のポイントを2ポイントでまとめています。ぜひご参考にしてください。

1 5G立ち上げが近づいてきたこともあり、各種半導体の需要はスマホや仮想通貨の失速があったわりに堅調。ただしメモリーは第4四半期から調整局面

2 新しい密着強化剤の開発・事業化にまい進中

2018年度の実績

	2017年度（組替数値）	2018年度	増減
売上高（百万円）	10,749	11,328	5.4% 増
営業利益（百万円）	2,339	2,222	5.0% 減
経常利益（百万円）	2,397	2,236	6.7% 減
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	1,803	1,778	1.4% 減
1株当たり当期純利益（円）	93.87	92.85	1.1% 減

※当社は、2017年度より決算日を変更いたしました。これに伴い、2018年度と比較対象となる2017年度の期間が異なるため、2018年度（1月1日～12月31日）に対応する前年同一期間（2017年1月1日～12月31日）のデータを記載しております。

にもたち、例えば社会課題を解決する、あるいは当社の開発に活用することを少しずつ実現できるよう、持ち前の好奇心と探求心をもって研究を進めているところです。

タイ新子会社 7月に完成予定

電子基板の東南アジア市場は、拡大を続けております。
現状は、同地域で使用される当社の薬品を完成品として日本の西宮工場から輸出しておりますが、旺盛な需要に応えるためタイ王国アユタヤ県に子会社を建設しており7月に完成の後、現地生産に移行する予定であります。当初は、100t/月の生産を行っていき順次生産機能の強化および安定供給体制のさらなる拡充を図ります。

配当金は配当性向30%を念頭に実施

配当金については、従来どおり安定配当の考えを維持しながら、連結配当性向は30%を念頭に、収益状況を総合的に勘案の上実施したいと考えております。
2018年度の配当は前年対比1株当たり4円増配し、期末配当金14円、実施済みの中間配当金と合わせて年間26円とさせていただきます。
2019年度における配当につきましては、景気の先行きに不透明感はありますが、1株当たり中間配当金12円、期末配当金14円の年間配当金26円を予定しています。
自己株式の取得につきましても、株主の皆様に対する利益還元策の一環として今後も検討していきたいと考えております。

用語解説

■ IoT
Internet of Things。あらゆるモノがインターネットにつながり、人々の暮らしや産業を変える仕組み。

■ サブトラクティブ工法
不要な銅をエッチングで除去することにより銅配線パターンを形成する一般的な基板の製造方法。

■ セミアディティブ工法
必要な部分に電気メッキで銅配線パターンを形成するパッケージ基板を中心とした高密度基板の製造方法。

Q 教えて! 2018年度の業績を教えてください

業績の推移とあわせて地域別の販売動向をご紹介。

Q 2018年度の事業環境と業績について教えてください。

A サーバー向け半導体の需要が堅調、薄型テレビの普及も継続しました。

2018年度前半は堅調に推移しましたが、後半にはスマートフォンや仮想通貨が低迷、パソコンやタブレットPCも軟調でした。一方、移動体通信システムの5G化にともない、サーバー向けなどの半導体需要は堅調に推移。薄型テレビは大型化や4Kテレビの普及が継続しました。また、クルマの電動化・電装化なども進みました。このような環境のもと、当社グループは高密度電子基板向け製品の開発、販売に注力。パッケージ基板向けに高いシェアを持つ超粗化剤「CZシリーズ」は、サーバー向けに順調に推移。クルマやミドルレンジスマートフォン用多層電子基板向け「BOシリーズ」やディスプレイ向け「SFシリーズ」、エッチング法で高密度配線パターンを実現する「EXEシリーズ」は堅調に推移いたしました。結果、当連結会計年度の売上高は113億28百万円(前年同一期間比5.4%増)、営業利益は22億22百万円(同5.0%減)、売上高営業利益率は19.6%(同2.2ポイント減)、経常利益は22億36百万円(同6.7%減)、税金等調整前当期純利益は23億28百万円(同3.5%減)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は17億78百万円(同1.4%減)となりました。

Q 製品別の販売状況を教えてください。

A 主要製品は全般的に増加しました。

CZシリーズの売上は55億71百万円(前年同一期間比7.2%増)、薬品売上高に占める割合は50.0%でした。EXEシリーズは12億41百万円(前年同一期間比1.4%増)、SFシリーズは11億36百万円(前年同一期間比36.2%増)、Vボンドシリーズは7億75百万円(前年同一期間比9.1%増)でした。

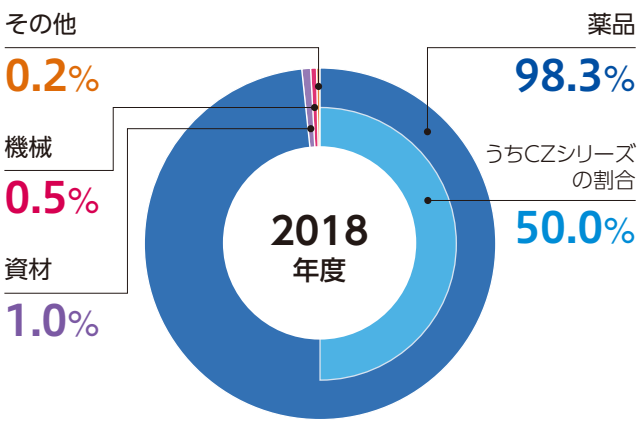
Q 地域別の販売動向はいかがでしたか?

A 台湾・中国・香港などが順調に推移しました。

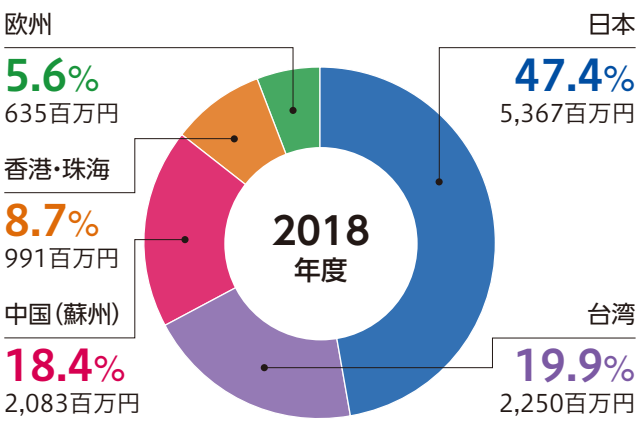
地域別売上高(連結)における海外売上高比率は54.4%(前年同一期間比0.6ポイント増)となりました。国内はサーバー向け薬品を中心に伸長。台湾は全般的に堅調でした。中国は旺盛な需要を背景にディスプレイ向け薬品が、香港は汎用電子基板市場で売上が順調に推移。欧州は電子基板業界全体が低迷しておりますが、新規顧客の獲得などにより堅調に推移しました。

※括弧内のパーセント表示は前年同一期間である2017年1月1日～12月31日と比較した増減率です。

売上高に占める品目別割合(%)



地域セグメント別売上高比率(%)／売上高(百万円)



PICK UP 電子基板・部品の製造に使用されるメックの技術をご紹介

電子基板・部品用薬品

メックは電子基板・部品製造用薬品を開発・製造・販売しています。

活躍分野

電子基板・部品は様々なエレクトロニクス製品に使用されています。
メックの薬品は様々なエレクトロニクス製品の電子基板・部品製造時に使用されています。

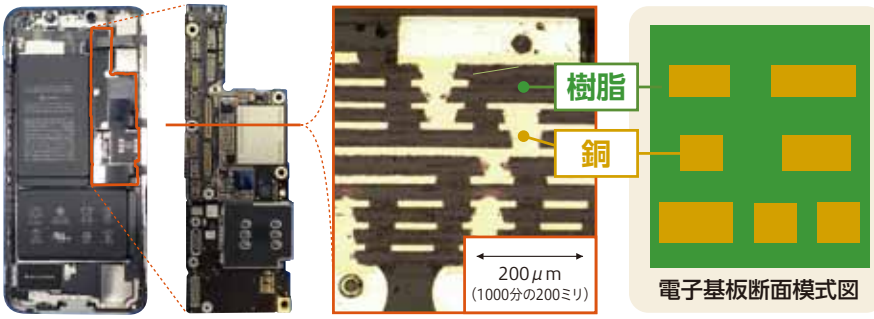
メックの薬品は製造プロセスに使用されます。

電子基板とは?

電気の通り道(導体、配線)である**「銅」**と、電気を通さない絶縁体の**「樹脂」**を**何層にも重ねて**作る電子部品の1つです。
電子基板に電気が流れることにより、さまざまな製品の起動や各種制御が行えるようになります。

スマートフォンの電子基板では、小型化・薄型化が進行中

わずか約1mmの厚みの中に導体である銅と絶縁体の樹脂が何層にも重ねて作られています。スマートフォンでは、多くの機能を使えるように緻密で、非常に高度な技術が詰まっているのです。



電子基板・部品の製造プロセスに使用されるメックの技術とは?

金属表面に、付加価値を生み出す技術

1 密着性向上技術

金属と樹脂の密着性を向上させ、剥がれることを抑止します。

2 配線形成技術

銅表面の不要な部分を薬品で溶かし、導体を形成します。

3 選択エッチング

複数金属が共存している基板の特定の金属だけをエッチングできます。例えば銅だけを溶かし、その他の金属は溶かしません。

財務指標

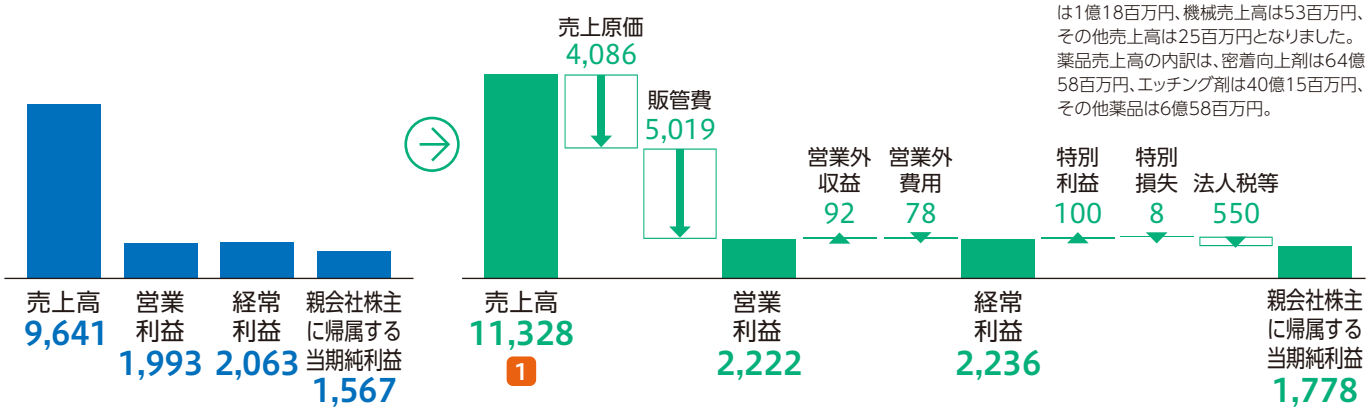
詳細はホームページ掲載の決算短信をご覧ください。 www.mec-co.com/ir/library/

連結損益計算書の概要(百万円)

※決算期変更のため、2017年度は4月1日～12月31日までの9ヶ月の決算でした。

2017年度
(4月1日～12月31日)

2018年度
(1月1日～12月31日)



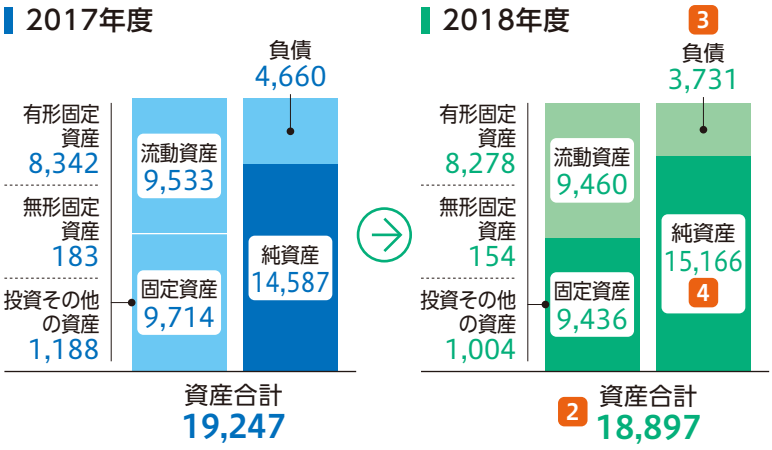
1 売上高

薬品売上高は111億31百万円、資材売上高は1億18百万円、機械売上高は53百万円、その他売上高は25百万円となりました。薬品売上高の内訳は、密着向上剤は64億58百万円、エッチング剤は40億15百万円、その他薬品は6億58百万円。

連結貸借対照表の概要(百万円)

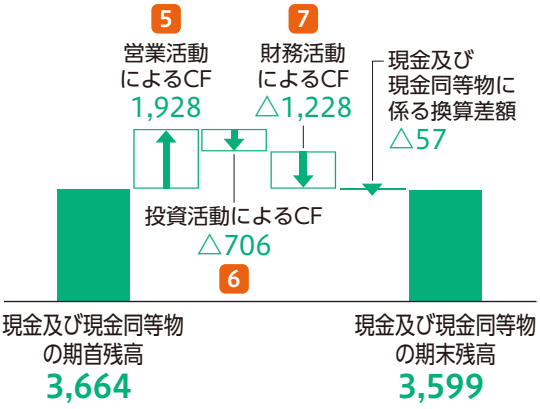
2017年度

2018年度



連結キャッシュ・フロー計算書の概要(百万円)

2018年度
(1月1日～12月31日)



2 資産合計

資産は、たな卸資産の増加、自己株式の取得による現金及び預金の減少や投資有価証券の時価下落などにより、前連結会計年度末に比べ3億50百万円減少し、188億97百万円となりました。

3 負債

負債は、尼崎事業所建設関係の借入金の返済や設備関係未払金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ9億28百万円減少し、37億31百万円となりました。

4 純資産

純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上による利益剰余金の増加、為替換算調整勘定の減少などにより、前連結会計年度末に比べ5億78百万円増加し、151億66百万円となりました。

5 営業活動によるCF

営業活動の結果得られた資金は19億28百万円。これは主に税金等調整前当期純利益が23億28百万円、および減価償却費が6億9百万円あったものの、資金の減少要因として法人税等の支払額が7億46百万円あったことなどによるもの。

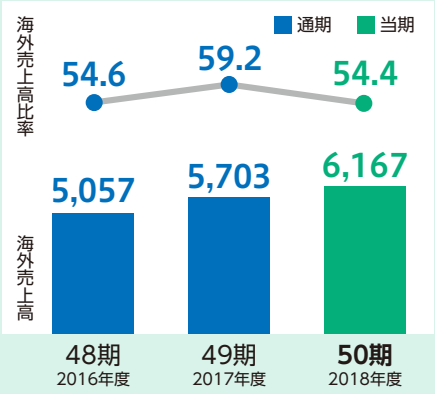
6 投資活動によるCF

投資活動の結果使用した資金は7億6百万円。これは主に有形固定資産の取得による支出が8億15百万円あったことなどによるもの。

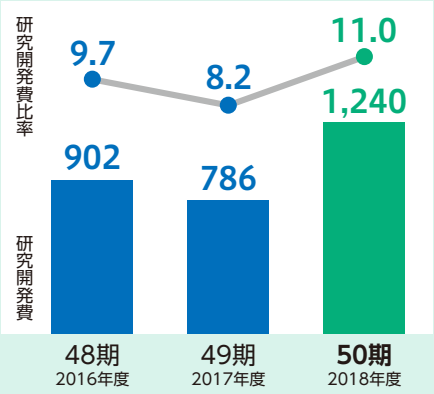
7 財務活動によるCF

財務活動の結果使用した資金は12億28百万円。これは長期借入金の返済による支出が5億円、配当金の支払いが4億63百万円、および自己株式の取得が純額で2億65百万円あったことによるもの。

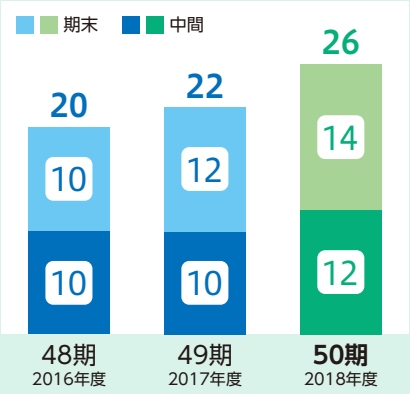
海外売上高(百万円)／比率(%)



研究開発費(百万円)／比率(%)



1株当たりの配当金(円)



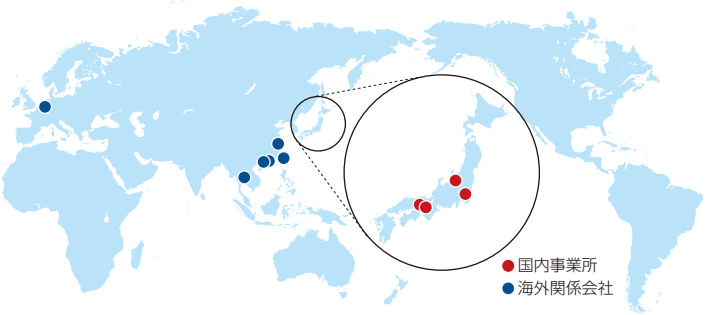
会社概要 ■ 2018年12月31日現在

■ 会社概要

商号	メック株式会社
本社事務所所在地	兵庫県尼崎市杭瀬南新町三丁目4番1号
設立年月日	1969年（昭和44年）5月1日
資本金	594,142,400円
事業内容	電子基板・部品製造用薬品の製造販売 および機械装置、各種資材の販売

■ 取締役および執行役員

代表取締役社長	前田 和夫
取締役専務執行役員	長井 眞
取締役常務執行役員	中川 登志子
取締役（社外）	西山 豊
取締役 監査等委員会委員長（社外）	佐竹 隆幸
取締役 監査等委員（社外）	田中 明子
取締役 監査等委員（社外）	髙尾 光俊
常務執行役員	北村 伸二
執行役員	木田 哲郎
執行役員	中村 幸子
執行役員	武村 文夫
執行役員	門林 安津子
執行役員	高垣 秀一



■ 国内事業所

本社・尼崎工場
〒660-0822 兵庫県尼崎市杭瀬南新町三丁目4番1号

東京営業所
〒190-0003 東京都立川市栄町六丁目1番1号 立飛ビル7号館7階

長岡工場
〒940-2045 新潟県長岡市西陵町221番地36

西宮工場
〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜二丁目1番19号

■ 海外拠点

MEC TAIWAN COMPANY LTD.
No.3, Ziqiang 6th Rd., Zhongli Dist., Taoyuan City 320, Taiwan（R.O.C.）

MEC EUROPE NV.
Kaleweg 24-26, B-9030 Gent, Belgium

MEC（HONG KONG）LTD.
No.8, 12/F., Tower 3 China Hong Kong City,
33 Canton Road, Tsimshatsui, Kowloon, Hong Kong

MEC FINE CHEMICAL（ZHUHAI）LTD.
530 An Ji East Road, Sanzao Town, Jinwan Qu, Zhuhai City,
Guang Dong 519040, China

MEC CHINA SPECIALTY PRODUCTS（SUZHOU）CO., LTD.
31 Linjiang Road, Suzhou Industrial Park,
Jiangsu 215121,China

MEC SPECIALTY CHEMICAL（THAILAND）CO.,LTD.

株式の状況 ■ 2018年12月31日現在

■ 株主状況

発行済株式総数	20,071,093 株
株主数	8,222 名

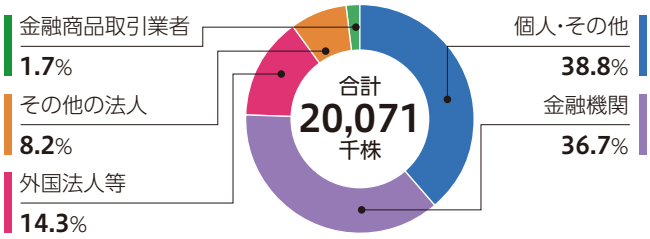
■ 大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	所有株数（千株）	持株比率（%）
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	3,767	18.7
株式会社マエダホールディングス	1,199	5.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,058	5.2
前田耕作	1,005	5.0
前田和夫	726	3.6
野村信託銀行株式会社（投信口）	611	3.0
メック取引先持株会	528	2.6
第一生命保険株式会社	429	2.1
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	371	1.8
BBH/SUMITOMO MITSUI TRUST (UK) LIMITED FOR SMT TRUSTEES (IRELAND) LIMITED FOR JAPAN SMALL CAP FUND CLT AC	359	1.7

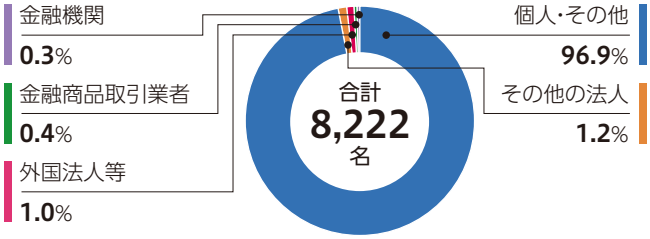
※当社は自己株式を895千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
※持株比率は、小数点第二位を切り捨てて表記しております。

■ 株式分布状況

所有者別所有株式数



所有者別株主数



※「個人・その他」には自己株式895千株を含んでおります。
※各比率は、小数点第二位を切り捨てて表記しております。

メック株式会社

本社事務所／〒660-0822 兵庫県尼崎市杭瀬南新町三丁目4番1号
TEL. 06-6401-8160　FAX. 06-6401-8165
URL　http://www.mec-co.com/

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

1. 証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
2. 証券会社の口座をご利用でない株主様は、下記電話照会先※までご連絡ください。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
期末配当金受領株主確定日	毎年12月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年6月30日
定時株主総会	毎年3月
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株式名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先※	TEL. 0120-782-031（通話料無料）
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	4971
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL　http://www.mec-co.com/ir/denshi/ （ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

■ 株主優待情報

保有株式数	優待内容
1,000株未満	QUOカード 1,000円分
1,000株以上	QUOカード 2,000円分

＊毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式100株（1単元）以上保有の株主様を対象といたします。

ニュースメール配信サービスのご案内

当社では、ホームページにニュースリリースや新しいコンテンツが掲載された際に、ご登録者の皆様にそのタイトルとURLを電子メールにてお知らせするサービス（ニュースメール配信サービス）を行っています。

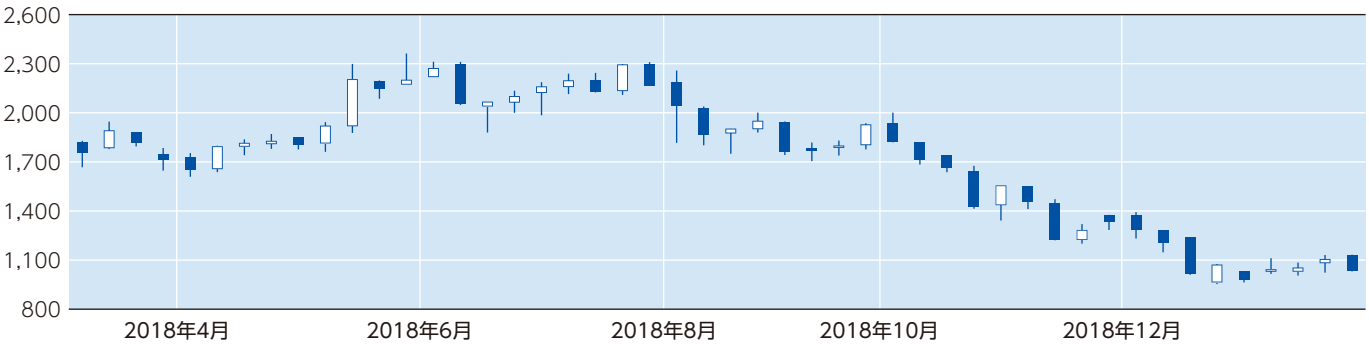
ご希望の株主様には、こちらのサービスの送信先メールアドレス（携帯電話のメールアドレス不可）を、当社ホームページまたは、RIMSNET（https://rims. tr.mufg.jp/）から、簡単にご登録いただけます（無料）。

アンケートのお願い

当社では、株主の皆様とのよりよいコミュニケーションを目指し、今後も業績情報の開示の充実に努めていきたいと考えています。

つきましては、この株主通信に対するご意見、ご感想をお聞かせいただきたくアンケートにご協力をお願いいたします。

ホームページのご紹介　http://www.mec-co.com/

当社のホームページでは
プレスリリース、株主通信、コーポレート・ガバナンス報告書　他
各種情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

株価の推移（2018年3月～2019年2月）　（単位：円）